

2017年10月12日 全8頁

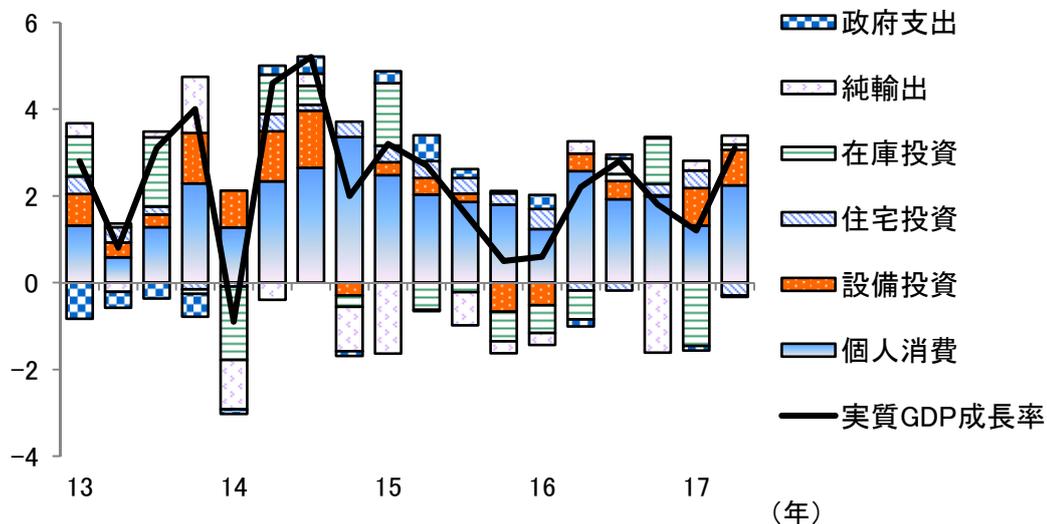
# アメリカ経済グラフポケット (2017年10月号)

2017年10月10日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター  
上野 まな美  
エコノミスト 橋本 政彦

## 実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



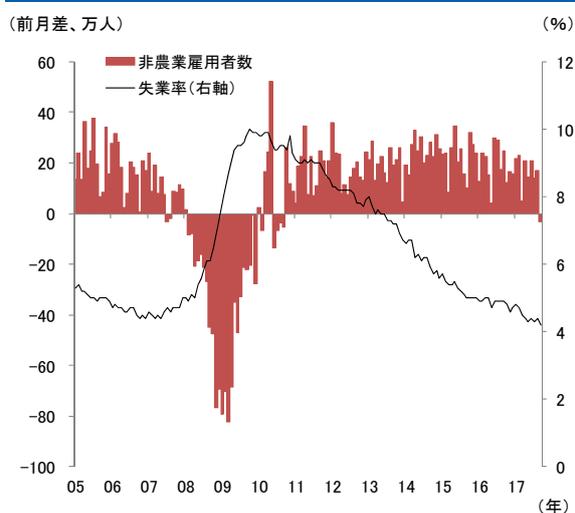
(前期比年率、%、%pt)	2015		2016				2017	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
国内総生産	1.6	0.5	0.6	2.2	2.8	1.8	1.2	3.1
個人消費	2.8	2.8	2.9	1.9	2.8	2.9	1.9	3.3
設備投資	1.5	3.4	0.2	7.2	3.4	0.2	7.2	6.7
住宅投資	10.6	-4.5	7.1	11.1	-4.5	7.1	11.1	-7.3
政府支出	1.2	0.5	0.2	-0.6	0.5	0.2	-0.6	-0.2
輸出	-4.0	6.4	-3.8	7.3	6.4	-3.8	7.3	3.5
輸入	1.7	2.7	8.1	4.3	2.7	8.1	4.3	1.5
寄与度								
個人消費	1.9	1.8	1.2	2.6	1.9	2.0	1.3	2.2
設備投資	0.2	-0.7	-0.5	0.4	0.4	0.0	0.9	0.8
住宅投資	0.4	0.3	0.5	-0.2	-0.2	0.3	0.4	-0.3
在庫投資	-0.2	-0.7	-0.6	-0.7	0.2	1.1	-1.5	0.1
政府支出	0.2	0.1	0.3	-0.2	0.1	0.0	-0.1	0.0
輸出	-0.5	-0.3	-0.3	0.3	0.7	-0.5	0.9	0.4
輸入	-0.3	0.0	0.0	-0.0	-0.4	-1.1	-0.6	-0.2

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

## 雇用環境<sup>1</sup>

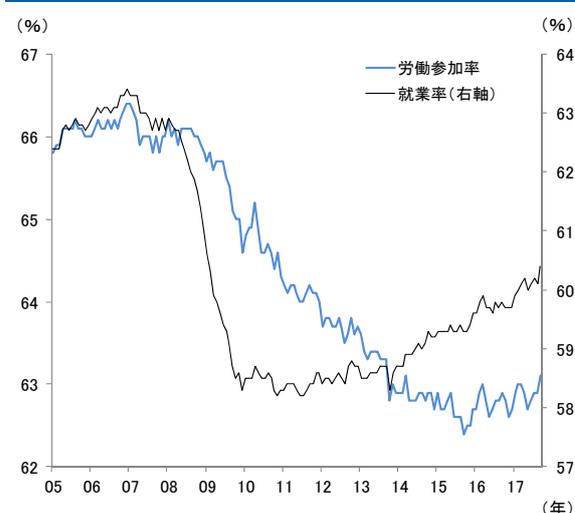
- ◆ 9月の失業率は4.2%であった。前月から0.2%ポイント低下し、2001年2月以来の低水準となった。就業者数の大幅な増加により、失業率が押し下げられた。
- ◆ 9月の非農業雇用者数の前月差は3.3万人減となった。大型ハリケーンによる影響から、2010年9月以来初めての減少となった。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は13.9万人増であった。

### 非農業雇用者数と失業率



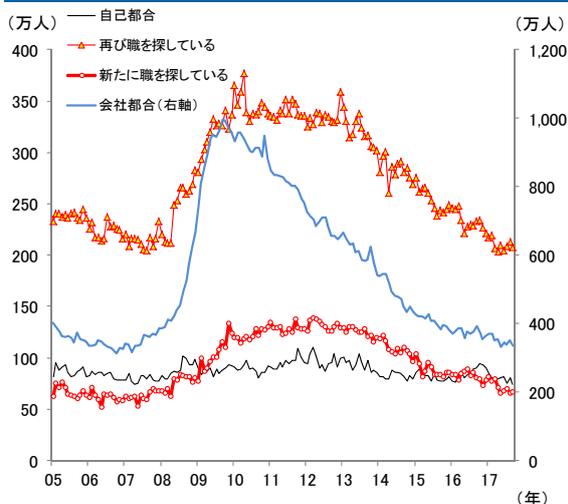
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

### 労働参加率と就業率



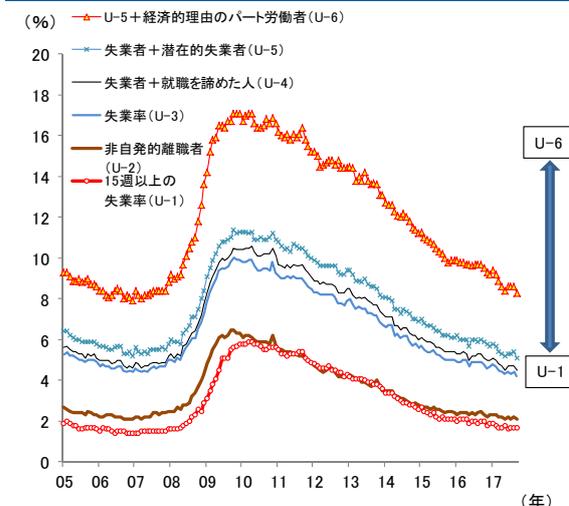
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

### 理由別失業者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

### 定義別失業率



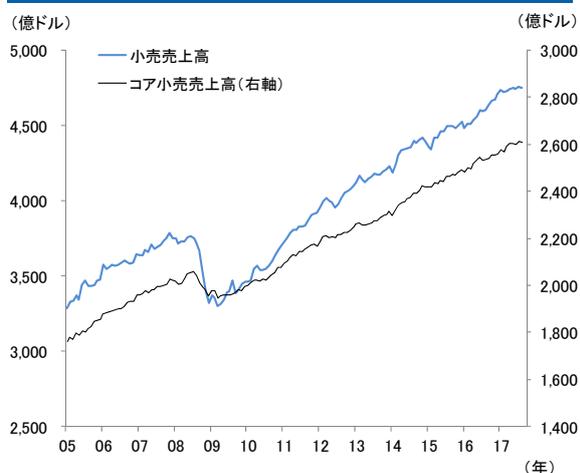
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

<sup>1</sup> 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「雇用者数は7年ぶりに減少も、失業率は低下」(2017年10月10日)参照。 [http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20171010\\_012356.html](http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20171010_012356.html)

## 個人消費

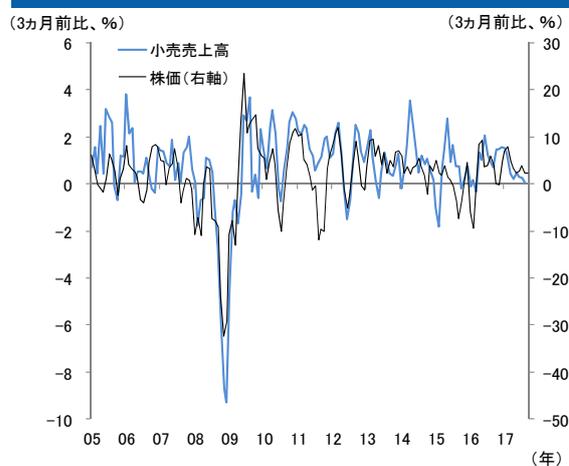
- ◆ 8月の小売売上高は前月比0.2%減少した。大型ハリケーンの影響などから、前月より減少に転じ、軟調であった。コア小売売上高も同0.2%減少した。
- ◆ 9月の自動車販売台数は前月比15.0%増と大幅に増加し、年率換算で1,857万台であった。大型ハリケーンで被害にあった自動車の買い替えが急増したとみられ、2005年7月以来の高水準を記録した。
- ◆ 9月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の96.8から95.1へと低下した。大型ハリケーンの影響に対する懸念から期待指数が低下し、2ヵ月ぶりの低下となった。

### 小売売上高の推移



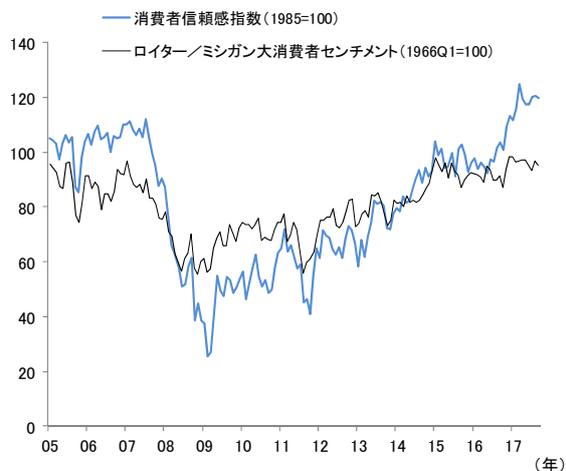
(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、建材・園芸、飲食サービスを除く。  
(出所)Census, Haver Analyticsより大和総研作成

### 消費と株価



(注)株価はWilshire5000。  
(出所)Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

### 消費者マインド



(出所)ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより大和総研作成

### 自動車販売台数

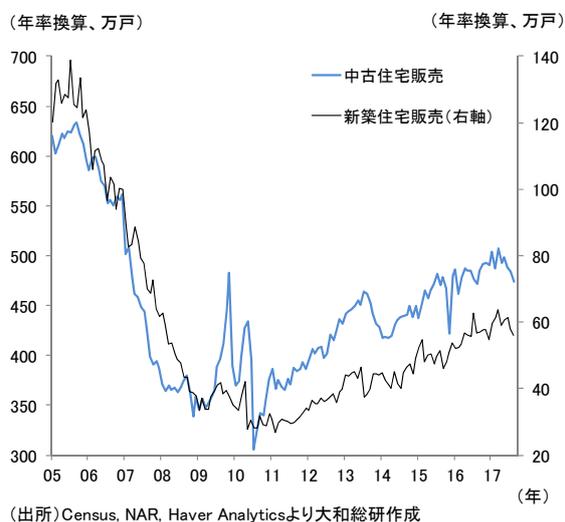


(出所)Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

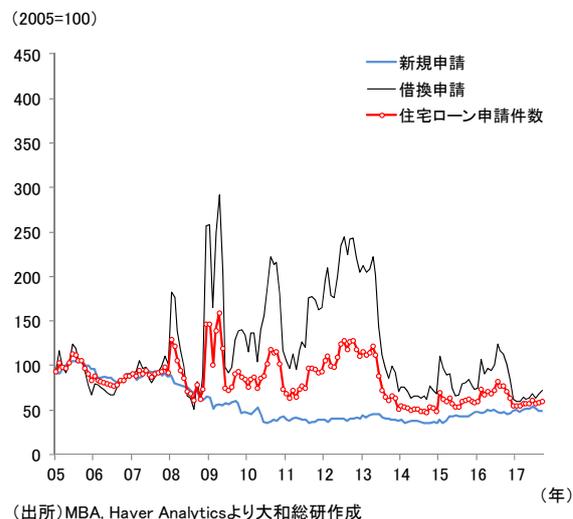
## 住宅市場

- ◆ 8月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比0.8%減の年率換算118.0万戸であった。一戸建ての着工は増加したものの、集合住宅の着工が減少し、2ヵ月連続の減少となった。
- ◆ 8月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比2.1%減の年率換算474.0万戸であった。長引く供給不足と、大型ハリケーンの影響による南部での販売減少が響き、2016年8月以来の低水準となった。
- ◆ 8月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比3.4%減の年率換算56.0万戸となった。大型ハリケーンの影響を受けた南部のほか、全国的に販売が落ち込み、2ヵ月連続で減少した。
- ◆ 7月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は、前月から0.3%上昇した。住宅価格は低水準の在庫を反映し、上昇傾向にある。

### 住宅販売（一戸建て）



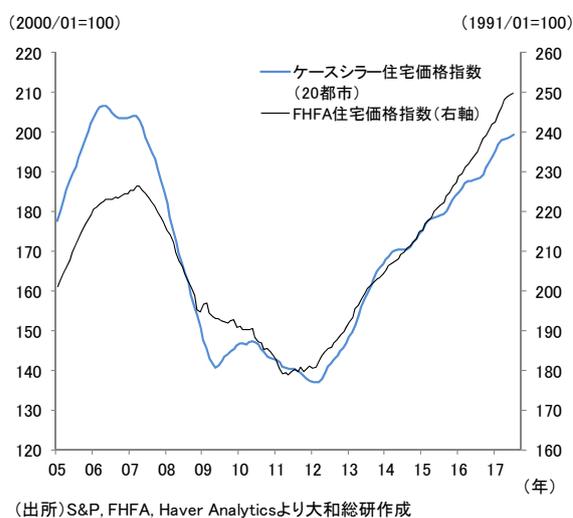
### 住宅ローン申請件数



### 住宅着工と建設業者の景況感



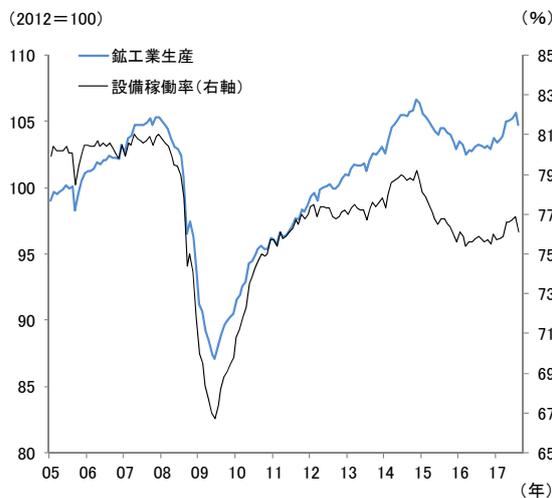
### 住宅価格



## 企業動向

- ◆ 8月の鉱工業生産指数は前月比0.9%低下し、2017年1月以来の低下となった。全体の約75%を占める製造業（SICベース）が大型ハリケーンの影響により同0.3%低下したほか、公益事業と鉱業も低下し、指数全体としては2009年5月以来の大幅な低下となった。
- ◆ 8月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は前月比1.1%増と、2ヵ月連続で増加した。
- ◆ 9月のISM製造業指数は、前月から2.0%ポイント上昇の60.8%であった。2ヵ月連続で上昇し、2004年5月以来の高水準となった。非製造業指数は前月から4.5%ポイント上昇の59.8%で、2005年8月以来の高水準となった。両指標ともに内訳の入荷遅延が最大の押し上げ要因となり、拡大・縮小の分岐点である50%を大きく上回った。

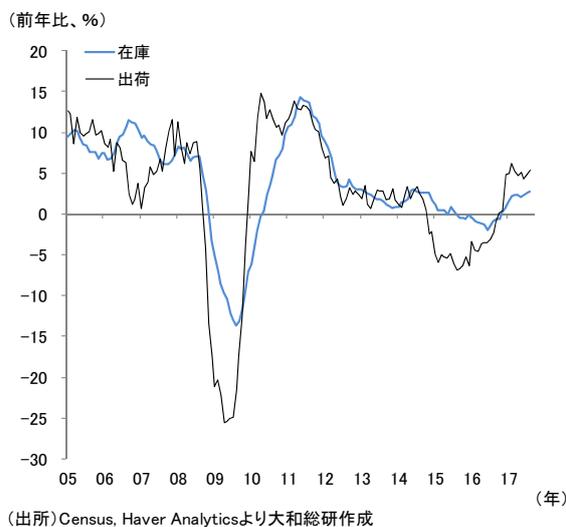
### 鉱工業生産と設備稼働率



### 企業の景況感



### 製造業の出荷・在庫



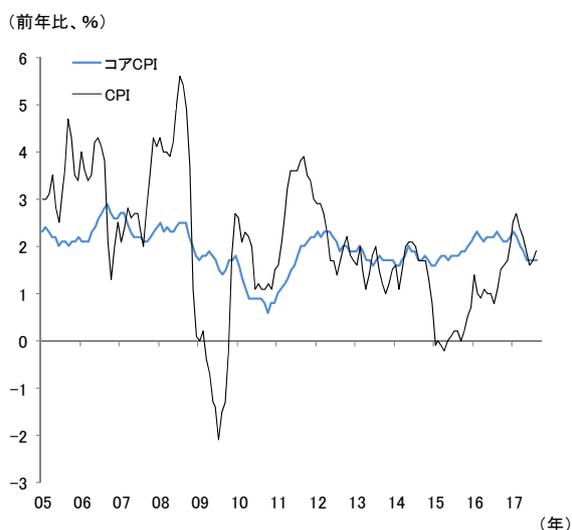
### 耐久財受注



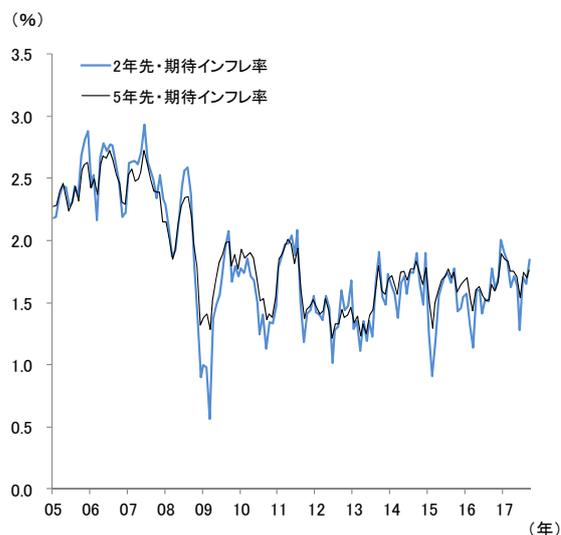
## 物価動向

- ◆ 8月のCPI（消費者物価指数）は前年比1.9%上昇した。コアCPIは同1.7%上昇し、4ヵ月連続で同じ上昇幅となった。
- ◆ 9月の2年先期待インフレ率は1.84%で、5年先期待インフレ率は1.76%と、ともに前月から上昇した。
- ◆ 9月末のWTI原油先物価格は51.67ドル/バレルで、8月末の47.23ドル/バレルから上昇した。OPECなどの原油産出国の生産が減少するとの見通しや、米国の在庫の減少などにより、価格が上昇した。

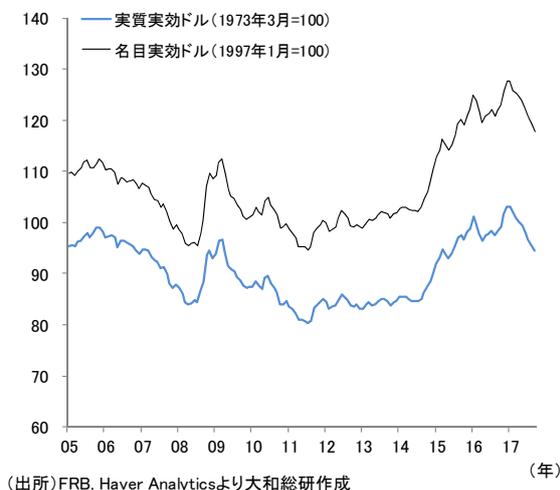
### 消費者物価指数



### 期待インフレ率



### 実効為替レート(ブロード)



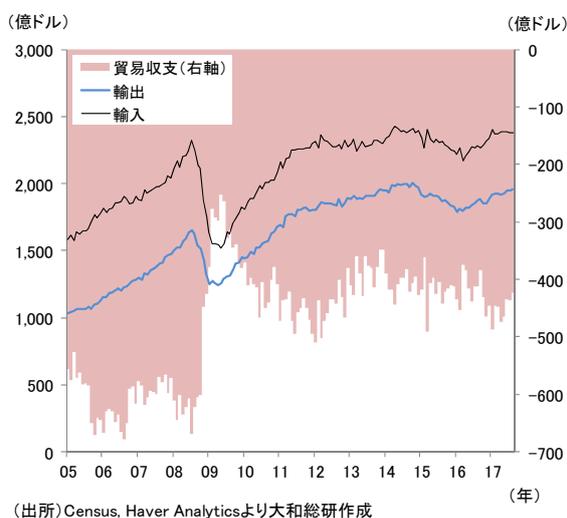
### コモディティ価格



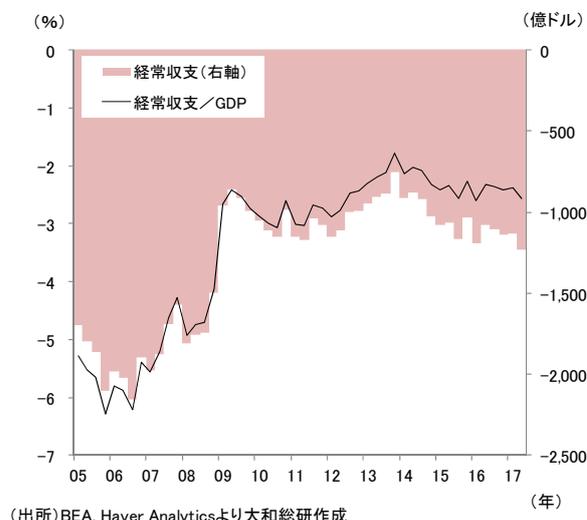
## 輸出入・経常収支

- ◆ 8月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比0.4%増加し、輸入が同0.1%減少した。この結果、貿易赤字は同2.7%減少の約424億ドルとなった。
- ◆ 輸出入（財）を商品別に見ると、輸出では医薬品や宝石・ダイヤモンドなどの消費財が増加し、輸入では銅などの工業用品・原料や資本財の減少が目立った。
- ◆ 地域別（財）では、中国への輸出が前年比16.6%増、欧州向けが同7.0%増加したが、日本向けは同1.0%減少した。輸入は、中国からの輸入が同6.0%増加したほか、日本からの輸入が同4.6%増加、欧州からの輸入も同2.4%増加した。

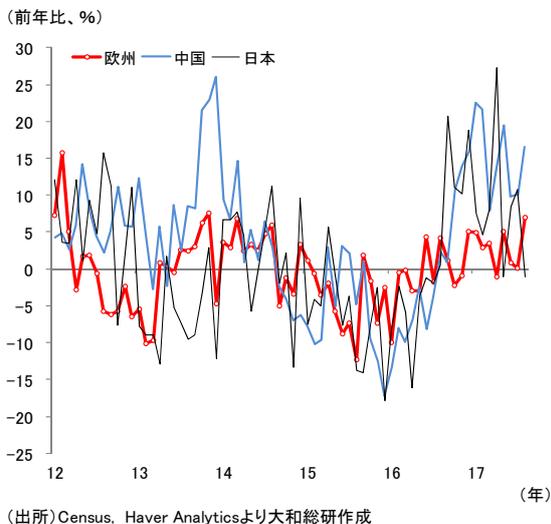
### 貿易収支動向



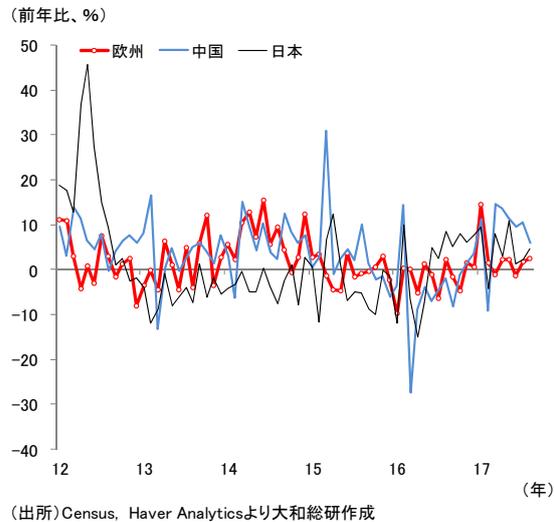
### 経常収支の推移



### 国・地域別輸出動向



### 国・地域別輸入動向



## 金融・財政

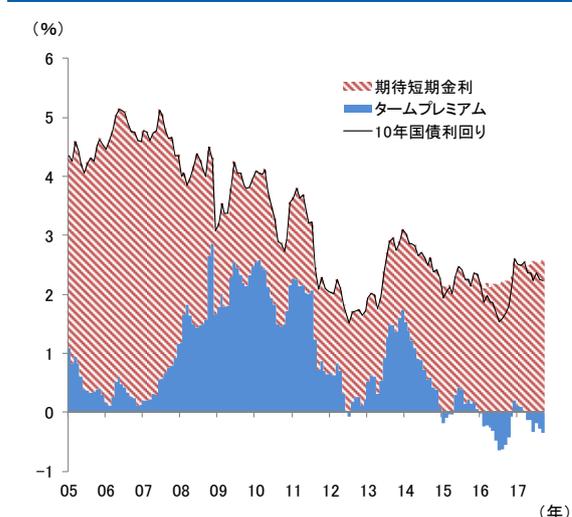
- ◆ 2017年9月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジが据え置かれ1.00-1.25%とすることが決定された。また、FRBが保有する資産規模については10月から縮小を開始することが決定された<sup>2</sup>。FRBの資産残高は、直近の10月4日の週平均が約4兆5,100億ドルであった。
- ◆ 9月の長期金利（10年債利回り）の平均値は2.20%であった。9月初旬に低下したものの、その後FRBが年内の利上げを示唆したことなどから金利が上昇し、月中平均値は前月並みであった。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、赤字幅が徐々に拡大しつつある。

### 政策金利・長期金利



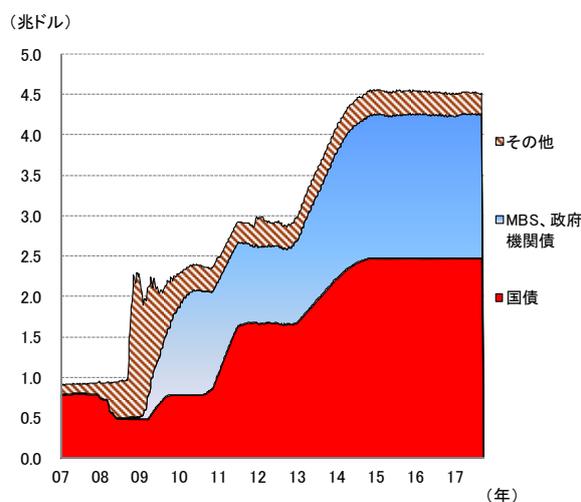
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

### タームプレミアム(10年)



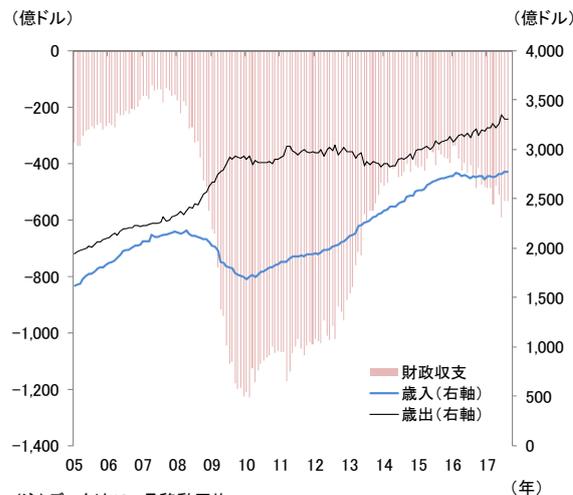
(出所)NY連銀, Haver Analyticsより大和総研作成

### FRBの資産構成



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

### 連邦政府の財政収支



(注)データは12ヵ月移動平均。

(出所)米財務省, Haver Analyticsより大和総研作成

<sup>2</sup> 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「FOMC バランスシート縮小の開始を決定」(2017年9月21日)参照。[http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20170921\\_012314.html](http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20170921_012314.html)